

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：2021年5月1日
研究課題名： 小児喘息発作時の短時間作用性β2 刺激薬のスプレーによる吸入とネブライザーによる吸入の比較に関する研究
研究期間：倫理審査承認後～西暦2028年3月
研究対象：気管支喘息発作で受診した2～15歳のお子さん
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他（アンケートと観察用紙 ） 上記材料の対象期間 西暦 2018年4月～2028年3月
意義・目的： 発作時の気管支拡張吸入薬（商品名メプチン）の吸入を、スプレーのタイプで行った場合と、吸入器で行った場合を比較します。どちらのほうが、お子さんにとってより効果があるかを調べます。
方法： 気管支喘息で当院に受診されたお子さんで、軽症から中程度の発作のお子さんに、スプレーのタイプか吸入器で吸入するタイプのいずれかの気管拡張薬を吸入して頂きます。吸入前後での喘息の重症度を、保護・医師・看護師へのアンケートや心拍数・呼吸数などで比較します。どちらの吸入方法が有効であるか検討します。 得られた個人情報については、本人がわからない形で集計して、解析します。したがって、集計表にはお子さんを特定できる情報はありません。記入いただいたアンケートや、医師や看護師が記入した観察表などは、当院で保存した後、研究終了後5年でシュレッダーにかけて破棄します。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 小児科 林 大輔（代表番号 029-851-3511）